

広報

おいらせ

Special Edition

秋祭り

—豊作豊漁を神に祈る—

- 02 みんなに教えたくなるこの人 —林美咲さん—
- 20 Oirase Topics まちの話題
- 22 八戸圏域定住自立圏構想を締結
- 28 Monthly Oirase Information
- 32 悩まず相談してください —各種相談の窓口—
- 34 ZoomUp 頑張るおいらせ人にインタビュー
- 36 家族のきずな —小向尊さん・こころさん—

Public Relations
November
2009
No.57

11

Special Edition

秋祭り

—豊作豊漁を神に祈る—

おいらせの秋は祭り一色に彩られる。遠い昔も、そして今も。先人たちがつくりあげた祭りの歴史は、子どもや孫たちに綿々と受け継がれる。神への祈りと感謝を込めた祭りは、地域の人々の強いつながりを生み出す。



百石まつり前夜祭は9月18日、中央公園で開かれた。まつりばやし共演会でちょうちんを手に、前を見据える北組の有澤司さん（百石小5年）。

広報 おいらせ

11

Oirase Town Public Relations
November 2009 No.57

CONTENTS 目次

- 02 みんなに教えてなるこの人
—林美咲さん—
- 03 特集
秋祭り
- 20 Oirase Topics まちの話題
- 22 八戸圏域定住自立圏構想を締結
- 24 公民館講座
- 27 国民年金
- 28 Monthly Oirase Information
- 31 戸籍の窓
- 32 悩まず相談してください
—各種相談の窓口—
- 34 ZoomUp —下田スワンクラブ—
- 36 家族のきずな
—小向尊さん・こころさん—



表紙の写真◎百石まつりにお稚児役として参加した渡辺愛子ちゃん（5つ）木崎。真剣な表情で化粧をしてもらった。

教えてなる

中級リーダーで得た経験

この人

将来の仕事に生かしたい



林美咲さん

子ども会育成連合会 SJLC

はやし・みさき◎1995年三沢市生まれ。現在、町子ども会育成連合会のSJLC（スマイル・ジュニア・リーダーズ・クラブ）の中級リーダーとして活躍する。子ども会の行事の運営に携わり、さまざまな経験を積み重ねる。両親、妹、弟との5人暮らし。おいらせ町緑ヶ丘在住、14歳。

町子ども会育成連合会（十文字憲夫会長）は十月十日、子ども会まつりを開いた。町内の小学生たちは町民交流センターに集まり、ゲームや体験活動などを思い思いに楽しんだ。中学生たちで組織されるSJLC（スマイル・ジュニア・リーダーズ・クラブ）の中級リーダーたちは、イベントの進行を担当する。林美咲さん（二巴緑ヶ丘II）はその中心的な役割を担う。当日は司会やゲーム進行、出店の手伝いなどをスムーズにこなした。「大変でしたが、子どもたちに楽しんでもらえたことが何よりうれしいです」とにっこり。

林さんが中級リーダーにかかわるきっかけは、十文字会長からの強い勧めだったという。小学生のころから、子ども会活動に参加していた林さん。子ども会のキャンプや研修会での積極的な姿は、十文字会長の目に留まった。中学進学と同時に、中級リーダーへ加入した。加入当時は分からないこと、苦労することがたくさんあったという。なかなか自分の思いが小学生たちに伝わらず「いらいるらすることもありません」と、当時の様子を振り返る。中級リーダーとしての役割を積み重ねるに連れ、忍耐力や企画力、そして人とかかわりの大切さを学び取った林さん。将来は「ほかの人に喜んでもらえる仕事に就きたい」と、満面の笑みで前を見た。

の例大祭に山車が付くというものである。その歴史的な背景は、現在も「附祭」という言葉が残っていることから想像できる。

祭りにかわり半世紀以上 祭りを愛する古老の熱い思い

北向敬夫さん（上新町）は、若宮八幡宮の神事に五十年以上かかわってきた。百石まつりの由来を知る、数少ない古老の一人だ。

北向さんは「百石まつりは陸の神、海の神への祈りが込められた祭りなんです」と話す。昔からこの地域にとって、農産物や海産物は生活になくてはならないものだった。豊年豊漁を神に祈願する気持ちを大切にしているのが、百石まつりの精神だ。

百石まつりは、北向さんにとって忙しい日々の始まりでもある。神へのお供え物の準備などを、手際よく行う。「昔からサケ、米、酒、野菜など、お供えするものは決まっているんですよ」と笑顔で話す。

北向さんは最近、病を患い病院へ通う日々を過ごしている。それでも半世紀以上もかかわってきた百石まつりには「何としても出なければ」と考え、通院スケジュールを調整したという。物静かな古老の、祭りへの熱い思いを垣間見た。



肴町山車組、大工町山車組のルーツである和合組の記念写真。大正時代のもものと推測される [提供/肴町町内会]

1 太平洋を見下ろす小高い丘の上にひっそりとたたずむ土鼻神社（明神下） 2 若宮八幡宮の神事に半世紀余りかかわってきた北向敬夫さん。農産物や海産物など、お供え物の準備を丁寧に行う



歴史をひもとく

File 1 百石まつり

【9月第3土・日・月開催】

祈りと感謝を込めた祭りは 百三十年の長い伝統を持つ

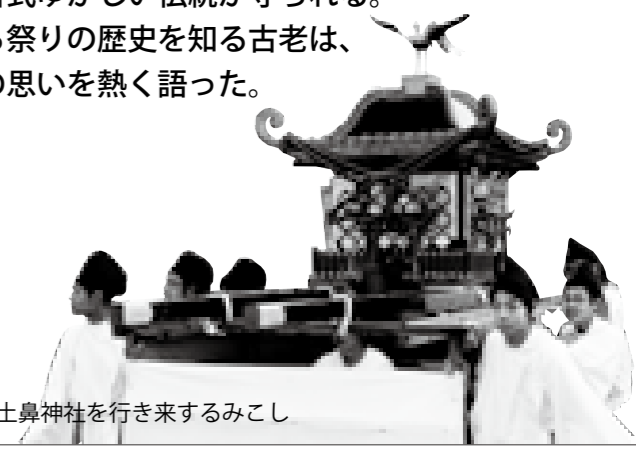
町分庁舎南側にある若宮八幡宮は、杉の木に囲まれひっそりと建つ神社だ。毎年二月にはえんぶり、九月には例大祭が行われる。

現在の百石まつりは、若宮八幡宮の例大祭だった。今からおよそ百三十年前の明治十三年、若宮八幡宮のみこしなどを、四基ほど北東にある土鼻神社（明神下）へ運んだ。みこしは土鼻神社で二泊し、若宮八幡宮へと戻る。これが百石まつりの由来と伝えられている。

明治二十二年には根岸の大神楽や太鼓など、本格的な行列が行われるようになる。豊作を祈願する豊年旗、豊漁に感謝する豊漁旗なども加わり、祭りはいっそうにぎやかなものになった。明治三十八年には、日露戦争の勝利を祝ったといわれる。

山車組は北組、南組が明治二十二年に参加。これ以降、いくつもの山車組が参加し、祭りを盛り上げていく。なお、百石まつりは若宮八幡宮

百石まつりは明治時代から引き継がれる、長い伝統を持つ祭りだ。陸の神、海の神への祈りと感謝を込めて、現在も古式ゆかしい伝統が守られる。古くから祭りの歴史を知る古老は、祭りへの思いを熱く語った。



若宮八幡宮と土鼻神社を行き来するみこし



百石まつりは明治13年ころから行われたと考えられている。現存している山車組で最も古いのは北組と南組で、明治22年から祭りに参加している。そのほかの山車組も、次第に山車を参加させるようになってきた。残念ながら人手不足などで中断、中止してしまった山車組もある。

■参考文献/百石町誌



仮装した女たちの乗ったリヤカーを、男たちが引く。昭和28年ころの写真と思われる。後列左端の女性は岩崎さん [提供/岩崎静江]

当時行われている祭りは、明治時代から古く続く百石まつりくらいだった。三田地区からも百石まつりへ行く人はいた。しかし、どうしても行くことができない人も多かった。また、戦後の貧しい時代、ほかの地域の祭りに足を向けることは、現在とは比較にならないほど負担だったと岩崎さんは振り返る。

停車場で祭りが行われるようになり、子どもたちは目を輝かせながら祭りを楽しんだ。大人たちも、普段の仕事を忘れ、祭りに没頭した。仮装用の衣装を作るため、若い母親たちは夜遅くまで集まって作業をした。岩崎さんは「疲れても何ともありませんでした。子どもたちを楽しませたいと思って、お母さんたちはみんな笑顔だったんですよ」と当時の思い出しながらにっこり。

岩崎さんは何枚もの古い写真を取り出し、一枚一枚じっくりと見つめる。若かりしころの彼女の姿もある。今はすでに亡くなってしまった人も大勢いる。

現在の祭りからは想像もつかないような、小さなリヤカーから始まった下田まつり。「最近の山車は大きくなって、立派になりましたね」と話す岩崎さん。今でも山車に乗る生き人形の姿を見ると、懐かしい気持ちでいっぱいになるという。

**「仮装行列でもしようか：
下田まつりの山車はリヤカー」**

JR下田駅周辺は、三田と呼ばれる地域だ。下田まつりは毎年九月、駅前を主会場として盛大に行われる。参加するみこしや山車は、伏見稲荷神社から駅前広場を通り、奥入瀬川近くまで練り歩く。一キ余りの短い道のりだが、沿道には多くの客が座り、行列を眺める。初日のお通り、二日目のお還りと、二日間にわたる祭りである。

戦後の復興が少しずつ進んでいた昭和二十六年、三田青年会の有志らは神社の御縁日に集まりながら、地域を盛り上げるため「仮装行列でもしようか」と話し合った。翌年には生花などで飾ったりヤカーに、思い思いに着飾った人が乗り、町内を練り歩いた。小さな集落の祭りだったが、人々の大きな楽しみだった。当時、下田駅前や三田周辺は「停車場」と呼ばれていたため、この祭りは「てしゃばの祭り」と名付けられた。

二十九年ころには伏見稲荷神社も、このてしゃばの祭りに加わった。そして翌年、祭りは「三田祭り」と改名する。馬車を使って本格的に山車を作り始めたのも、このころと考えられている。最初に山車を参加させたのは、三田地区の北組、中組、

下田駅周辺は、かつて「停車場」と呼ばれた。戦後の復興が少しずつ感じられた時代、停車場の人々は子どもたちの楽しみや地域を盛り上げるため、祭りを立ち上げた。これが下田まつりの始まりである。半世紀前に生き人形を務めた老婦人は、昨日のこのように若き時代を思い出す。

File 2 下田まつり

【9月第4土・日開催】

南組の三組だ。山車を作る予算が少なかったため、山車組の人々は知恵を絞った。その結果、人が着飾った「生き人形」を乗せることを思いついたようだ。

以来三田祭りは、生き人形に強いこだわりを持って続けられることになる。あるとき、造形の人形を乗せた山車組があった。関係者による協議で「造形人形だけを出すのはルール違反。生き人形を必ず乗せなければならぬ」という取り決めまでされたという。

五十二年には「下田祭り」、六十年ころには「下田まつり」と名称を変えた。このころには三田地区ばかりでなく、町連合青年団や三本木でも山車を参加させるようになった。平成になると間木も山車を自作し、祭りを盛り上げている。

戦後で娯楽も物も少ない時代
母たちは笑顔で祭りの準備

岩崎静江さん(80) 三田には、この祭りが始まった時代から、生き人形を務めた経験を持つ。当時の写真を見ながら懐かしそうに話す。

「戦後は娯楽も物も少ない、貧しい時代でした。子どもたちに楽しんでもらえる祭りの開催を、本当に心待ちにしていたんですよ。」



1 人々は装飾したりヤカーを引きながら練り歩く。昭和30年以前のものである(提供/岩崎静江) 2 祭りで最初に出場した生き人形は、みそ踏みの仮装をしたといわれている。三田南組のはんてんには、その様子がくっきりと描かれている

Voice

岩崎静江さん
いわさぎ・しずえ (80)

祭りが始まったころは、戦後で物がない時代でした。若い母親たちは祭りの衣装をつくるため、毎晩遅くまで集まったものです。子どもたちのために、みんなで力を合わせたんですよ。



昭和

平成

三田北組 (昭和27年)

三田中組 (昭和27年)

三田南組 (昭和27年)

連合青年団 (昭和58年)

三本木 (昭和61年)

中止 (平成16年)

中止 (平成17年)

間木 (平成17年)

下田まつりは昭和27年に始まった「てしゃばの祭り」、昭和30年に改名した三田祭りが発展したものと伝えられている。

■参考文献/「下田まつり」生き人形の生い立ちと類似事例 (櫻庭俊美)



山車作りの 伝統を引き継ぐ

大工町は大正時代から百石まつりに参加している、歴史の長い山車組だ。以来山車の自作にこだわり続けている。決して大きいわけではない山車だが、陸の神、海の神への思いが込められる。自作の山車にこだわり続けた大工町の努力と汗の結晶だ。

陸と海の神に祈りと感謝 こだわりを貫く山車作り

大工町は大正時代の和合組をルーツに持つ、とても歴史のある山車組だ。明治時代から参加した北組、南組に次いで、三番目に古い山車組といわれている。

現在、百石まつりには十一台の山車が参加している。そのうち自作の山車は三台。大工町も山車の自作にこだわり続けている。リヤカーや馬車で参加していた昔も、華やかな山車で参加している現在でも、その精神は引き継がれている。

製作の中心的役割を担うのは、山車作りに四十年余りかかわり続ける村杉徳孝さん（六五）、大工町（六五）。今年の山車は、古くから日本に伝わるおとぎ話をテーマにしたものだ。金太郎や桃太郎、浦島太郎など、絵本に出てくる昔話の主人公たちの人形が、山車を華やかに飾っている。

村杉さんは精密な図面を何度も手直ししながら、山車製作の構想を練り続けてきた。もともと百石まつりの山車は、陸と海の神への豊作豊漁の祈りを込め、それにちなんだ装飾をするものだったという村杉さん。「神への感謝を山車の人形に込めることで、百石まつりらしさが出てくるんです」と言い切る。大工町の山

車はほかの山車組と比べ、決して大型ではない。しかしその装飾は、海や山のことを強く意識している。

八月中旬から一カ月余り、若者たちも一緒に夜遅くまで山車作りに汗を流し続けた。祭りが直前に迫るころ、無事に山車は出来上がり、華やかな姿を現した。

神への祈りと感謝は欠かせない 伝統の重さを胸に刻む後継者

百石まつり当日、大工町の山車製作関係者は朝早くから山車小屋に集まり、村杉さんを中心にこの日の流れを綿密に打ち合わせする。祭りは午後から始まるが、午前中のうちに神社や屯所など、祭り期間中にお世話になる場所へ、感謝のお酒を届けなければならぬ。外回りには村杉さんのほか、三村伸明さん（四九）、三村俊介さん（四〇）が同行する。

一行は最初に若宮八幡宮、土鼻神社へお参りする。この二つの神社は百石まつりと非常にかかわりが深い神社で、どの山車組もお参りする。

さらに大工町山車組は、根岸地区にある根岸不動尊へのお参りも欠かせない。古くから大工町の山車は、お不動様を中心に鎮座させている。これは世の中に降りかかるさまざまな災いを、お不動様のにらみつける

ような気迫で追い払うことを願うものだ。そのため、毎年欠かすことなく根岸不動尊へのお参りを行う。儀式は厳粛に執り行われる。大工町の一行は神主の祈りに耳を澄ませながら、手を合わせる。最後にお払いを受け、四十分余りに及ぶ儀式は終わった。

「神への祈りや感謝は、祭りには絶対に欠かすことはできない」と話す村杉さん。大工町は八十年以上の長い間、この精神を次の世代へ引き継いできた。同行した若い二人も、その伝統の重さを胸に刻んだ。

若者たちは門付けで 地域の大きな支えを実感する

山車運行が始まってから、若いメ

ンバーたちには重要な役目が待っている。地域のさまざまな人から寄付金を募る「門付け」だ。大工町は若者を中心に六つの班を編成し、担当地区を割り当てた。それぞれの班員は地図を確認すると、いつせいに山車小屋を後にする。

鈴木祐幸さん（二九）は、子どものころから山車組に加わり、門付けにも慣れている。同行するのは堀切川地区から参加する橋本愛さん（一六）。門付けへ行くのは今回で二回目だ。

多くの山車組にとって門付けで得る収入は、山車運行の重要な財源になっている。地域の温かい気持ち、祭りへの愛情を受け取る若い二人。鈴木さんは「本当にありがたいことです」とこっぴどほ笑んだ。

1 大工町山車組は毎年、根岸不動尊でお払いをしてもらう。左から村杉徳孝さん、三村俊介さん、三村伸明さん 2 山車の図面を描く村杉さん。陸と海の神に感謝する気持ちを込めた図面は、山車製作に欠かせない 3 大工町山車組の笛役を務める木村まどかさん（22）大工町。小学生のころから祭りにかかわってきた木村さんは、子どもたちにお囃子を指導する役目も担う 4 大工町の山車は完全自作。今年の山車はおとぎ話をモチーフに、陸と海の神への感謝の気持ちを込めたもの。日本の昔話を家庭で語ってほしいという願いも込めている。中央の祠には不動尊が見えている 5 門付けでいただくお金は、山車運行の重要な財源になる。笑顔でお金を受け取る橋本愛さん（左）。深々と頭を下げて感謝する鈴木祐幸さん（右）



1



2



3

1娘の奈菜さんの顔に化粧を施す母の妙子さん 2七福神の一人、弁才天の役を演じた奈菜さん。山車の装飾に負けないうらい、美しい姿になった 3事務局長を務める中村清一さん。子どもたちの夢をかなえたいと、20年以上山車作りにかかわってきた

藤ヶ森の山車は、軽い発泡スチロールなどで作られた人形を乗せる構造になっている。しかし下田まつりは生き人形、つまり実際の人間を乗せることになる。土台をしっかりとさせるために、改造が必要だった。百石まつりと下田まつりの開催時期は一週間の違いしかない。実質四、五日で山車の改造作業は行われた。毎晩町内の若者が総出で、深夜まで

生き人形を乗せるため 四、五日の短期間で山車を改造

わせ、祭りへの参加を願って話し合いを重ねた。そして昭和六十一年、百石まつりに参加している藤ヶ森町内会から山車を借り、ついに下田まつりへの参加を実現させた。

かつて生き人形を務めた母と 今年生き人形を務めた娘

今年、三本木は山車のテーマを「七

残って作業を続けた。中村さんは昨日のここのように「あのときは自分たちも若かった。一番勢いのあつたころですよ」と、笑いながら当時の様子を話す。藤ヶ森の山車を借りるようになって五年目の平成三年、三本木は藤ヶ森から山車の台車を譲り受けた。このことは三本木の人人々に大きな喜びを与えた。「自分たちの山車を持つようになったのだ」と。以来二十年以上、三本木は地域の熱い思いを結集して、山車の自作を続けている。

福神・おいらせ港まつり」と決め、山車を製作してきた。その意図を「来年新しい百石漁港ができますよね。その完成を願う意味も込めているんですよ」と説明する。生き人形は七福神をイメージして乗せる。その中で唯一の女性は、下田中学校三年の八重垣奈菜さん（十五）だ。八重垣さんは昼過ぎの祭り開始に間に合うよう、十時には三本木集会所に集まり、化粧や衣装替えをする。八重垣さんのみずみずしい肌には化粧を施す母親の妙子さん（四二）。みるみるうちに真っ白に化粧された自分の顔を鏡に写し「お母さん、ちよつと化粧濃過ぎない」と話す娘。「まだまだ足りないくらいだよ」と構わぬ様子の母。母子の仲むつまじい雰

囲気が、集会所を優しく包む。一時間ほどで奈菜さんの化粧と衣装替えは終わった。自分の姿を鏡に写して驚く奈菜さん。一緒に集まった友人たちも笑いながらその変わりように驚いている。山車に乗り込み、ポーズをとった奈菜さんは、あでやかな本物の人形のようにも見えてくる。妙子さんは山車に乗った生き人形をいとおしそうに見つめる。十年ほど前、妙子さんも生き人形として山車に乗った経験を持つ。来年高考生になる奈菜さんは、もしかしたら部活動や勉強などで忙しくなり、祭りへ参加することが難しくなるかもしれない。「最初で最後の生き人形かもしれない。本当にかわいい生き人形になりましたね」と、母は娘に優しいまなざしを向けた。



山車の細かい部分まで丹念に色を塗る。左から馬場義則さん、斉藤久さん

母から娘へ 伝える生き人形

青森県南地方最後の秋祭りで知られる下田まつり。その大きな特徴は、「生き人形」だ。かつてきらびやかな生き人形を演じた母親は、愛する娘の生き人形姿をいとおしそうに見つめる。

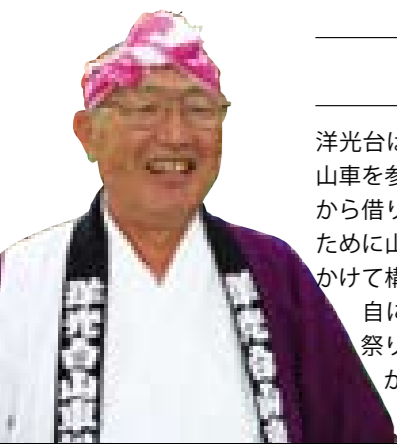
JR東北本線下田駅の西側にある三本木地区は、百世帯余りの集落だ。下田まつりの時期が近づくと、子どもたちの元気のよいおはやしの音色が響き渡る。

三本木実行委員会の事務局長を務める中村清一さん（五五）は山車作りに汗を流しながら「今年のまつりばやし競演会は優勝を狙えるよ」と、子どもたちを見つめる。

かつて、下田まつりは三田祭りと呼ばれ、三田地区の人々が主流の祭りだった。中村さんが子どものころ、三本木に住む子どもたちは三田の山車組に参加させてもらっていた。しかし、当時は子どもの数が今と比べて多かった時代。三田地区の子どもたちが優先的に山車の上で太鼓をたたいた。中村さんは「わたしも太鼓をたたきたかったけれど、どうもできませんでしたね」と、懐かしそうに当時を振り返る。

彼らは大人になり、親になっていく。「三本木の子どもたちに太鼓をたたき喜びを知ってもらいたい」、「祭りに参加して、子どもに夢を与えたい」と考えるのは、自然の成り行きだった。三本木の大人たちは互いに力を合

祭りで太鼓をたたきたい 子どもの夢をかなえるために



前田薫さん
Maeda Kaoru (66)

洋光台は平成14年から百石まつりに山車を参加させました。山車は八戸市から借りています。地域の結束を高めるために山車を出したいと、長い時間をかけて構想を練りました。洋光台が独自に行う夜間の町内山車運行は、祭りに足を運ぶのが難しい高齢者からも大変好評です。



洋光台 - Yokodai -

許可番号 876 南総里見八犬伝



思い

百石まつりに参加する11台の山車、下田まつりに参加する4台の山車、それぞれの山車組代表者が、秋祭りへの熱い思いを語った。



小笠原和男さん
Ogasawara Kazuo (49)

南組は明治22年から百石まつりに山車を参加させている、大変歴史のある山車組です。昔は山車を自作していましたが、今は八戸市から借りています。長い歴史の中で、人手不足などのために参加を中断しそうになったこともあります。世帯数は少ないですが、みんなで力を合わせ、伝統を引き継いでいきます。



南組 - Minamigumi -

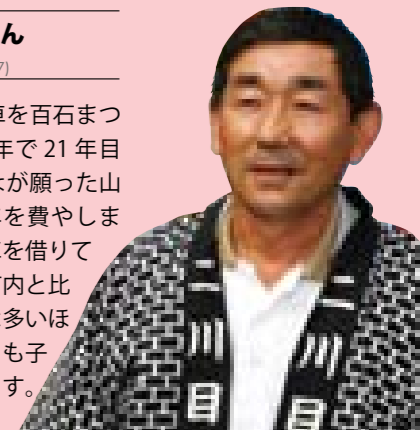
許可番号 875 南部師行出陣・南部騎馬軍団



二川目 - Futakawame -

吉田勝則さん
Yoshida Katsunori (57)

二川目は平成元年から山車を百石まつりに参加させました。今年で21年目を迎えます。地域みんなが願った山車運行は、構想から10年を費やしました。今は八戸市から山車を借りています。二川目はほかの町内と比べ、子どもや若い人の数は多いほうだと思います。これから子どもたちと一緒に頑張ります。



許可番号 879 酒呑童子



笹川和廣さん
Sasakawa Kazuhiro (56)

一川目の山車は昭和49年から百石まつりに参加しました。地域の青年団が子どもたちに夢を与えたいと思い始めたのがきっかけです。現在、山車は八戸市から借りています。子どもや若い夫婦がたくさん参加してくれて、とても心強いです。

一川目町内会は宝くじ助成金を活用し、祭り用衣装を購入しました



一川目 - Hitokawame -

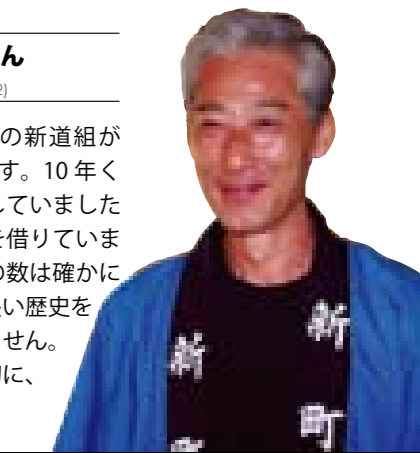
許可番号 874 猛将清正



新町 - Shincho -

小向毅志さん
Komukai Tsuyoshi (52)

新町の山車は、大正時代の新道組がルーツだと言われています。10年くらい前までは山車を自作していましたが、今は五戸町から山車を借りています。昔と比べて、子どもの数は確かに少なくなりました。でも長い歴史を絶やすことは絶対にできません。町内みんなの思いを大切に、これからも頑張ります。



許可番号 878 長篠の合戦



馬場喜代治さん
Baba Kiyoji (80)

大工町は大正時代の和合組から流れをくんでいる山車組です。以来長い間、山車は地域の人々の手による自作にこだわってきました。大工町に住んでいる人だけでなく、大工町出身者たちも祭りに参加してくれます。これからも先人から受け継いだ伝統を、子どもや孫たちに継いでほしいと強く願っています。



大工町 - Daikumachi -

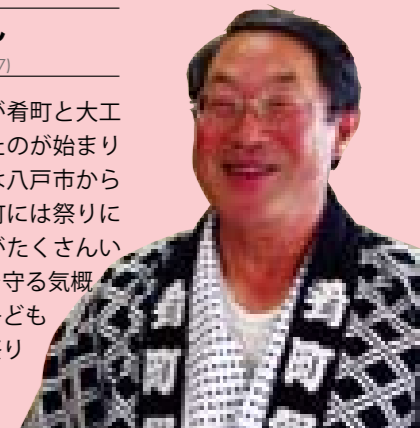
許可番号 900 お伽いしづみ



肴町 - Sakanamachi -

川口馨さん
Kawaguchi Kaoru (57)

大正時代にできた和合組が肴町と大工町に分かれて山車を出したのが始まりと言われています。現在は八戸市から山車を借りています。肴町には祭りに対して熱い思いを持つ人がたくさんいます。だからこそ、伝統を守る気概が引き継がれています。子どもから老人まで、みんなが祭りを楽しんでいます。



許可番号 877 蒼き狼チンギス・ハーン



中村清一さん

Nakamura Seiichi (55)

三本木は昭和61年から山車を下田まつりに参加させました。最初は藤ヶ森から借りていましたが、平成3年について山車を自作しました。わたしたちは子どものころ、山車の上で太鼓をたたくことができませんでした。子どもたちの夢をかなえたいという強い思いで、山車を作り続けています。これからも地域の力を結集し頑張ります。



三本木 - Sanbongi-

許可番号 859 七福神・おいらせ港まつり



橘一成さん

Tachibana Kazunari (49)

北組は明治22年から百石まつりに山車を参加させている、非常に歴史ある山車組です。現在山車は八戸市から借りています。以前は大人の楽しみの要素が強かったですが、最近は地域の子どものため、という思いをみんなが持っています。子どもたちの笑顔は、何ものにも代えがたい宝物ですね。



北組 - Kitagumi -

許可番号 873 輪廻転生・小栗判官と照手姫



中村信一さん

Nakamura Shinichi (56)

三田南組は、三田祭り時代から山車を参加させています。近年は地域の子どもの数が減少してきていますが、ほかの地域からの子どもたちがたくさん参加してくれるのは大変ありがたいことです。今年も若い人とベテランの力を合わせて、満足のいく山車を作ることができました。長い歴史を絶やさないう、頑張っていきます。



三田南組 - Mita-Minamigumi-

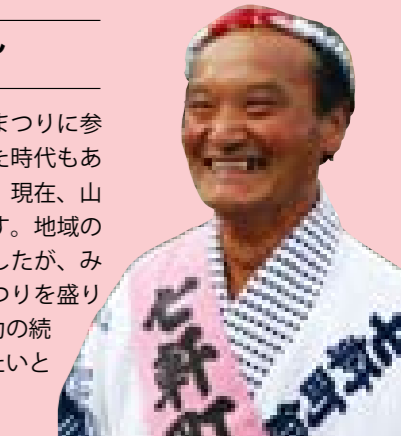
許可番号 858 石川五右衛門・釜茹での刑



福岡義忠さん

Fukuoka Yoshitada (56)

七軒町は大正時代から百石まつりに参加しています。一時中断した時代もありますが、復活しています。現在、山車は八戸市から借りています。地域の子どもの数は少なくなりましたが、みんな友達を誘いながら、まつりを盛り上げています。これからも力の続く限り、力を合わせていきたいと考えています。



七軒町 - Shichigencho -

許可番号 872 前田慶次見参



村崎秀男さん

Murasaki Hideo (54)

三田北組は、三田祭り時代から山車を参加させている、歴史の長い山車組です。本年はお盆過ぎころから本格的に山車を作り始めました。若い人が役割と責任を持って、しっかりと山車作りをしてくれました。本当に助かっています。先人から引き継いだ伝統を、これからもしっかりと守っていきたく考えています。



三田北組 - Mita-Kitagumi-

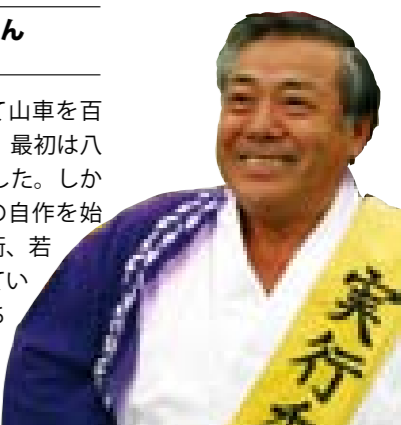
許可番号 857 金太郎伝説



藤ヶ森利昭さん

Fujigamori Toshiaki (61)

藤ヶ森は昭和44年に初めて山車を百石まつりに参加させました。最初は八戸市から山車を借りていました。しかし30年ほど前から、山車の自作を始めました。地域の人々の技術、若い力が強い団結力で結ばれています。将来を担う子どもたちの夢のため、山車作りをこれからも続けていきます。



藤ヶ森 - Fujigamori -

許可番号 871 豊臣秀吉・小田原城出陣



坂井田昇さん

Sakaida Noboru (44)

間木は平成17年に山車を下田まつりに参加させました。地域の子どもたちに祭りの楽しさを味わってほしいという強い思いが、地域みんなの心に根付いています。間木地区の子どもだけでなく、学区の違う木ノ下地区からの参加者もいて、非常に心強く思います。3年連続最優秀賞をいただき、大変光栄に思っています。



間木 - Magi-

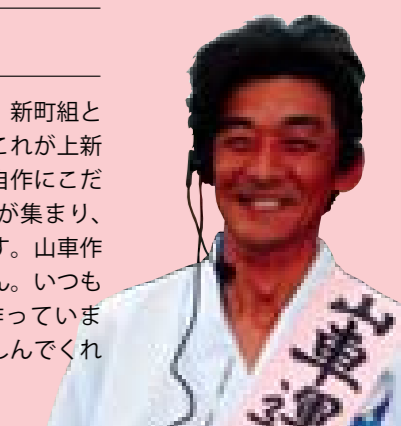
許可番号 860 忍術合戦・児雷也



福岡晃さん

Fukuoka Akira (45)

大正時代にあった新道組は、新町組と上新町組に分かれました。これが上新町組の始まりです。山車は自作にこだわっています。地域の人々が集まり、楽しみながら山車を作ります。山車作りに完璧なものはありません。いつも試行錯誤しながら山車を作っています。子どもたちが笑顔で楽しんでくれるのが、何よりの喜びです。



上新町 - Kamishincho

許可番号 870 天女のはごろも



4



あふれる笑顔 深まるきずな

祭りに参加するのは、神事にかかわるものだけではない。老若男女、さまざまな人々が祭りを盛り上げている。祭りは笑顔をもたらし、人同士のつながりを深める。喜びを共感できるからこそ、祭りは人々を魅了する。

百石まつりは神事とのかかわり、下田まつりは地域の仮装行列からと、それぞれの祭りの始まりには違いがある。それでも変わらないのは、仲間と共に祭りの準備に汗を流し、喜びを共に分かち合えることだ。

近年の祭りは、地域の人々の「楽しみ」、地域の「観光」としての要素が加わった。地域のみんなが、祭りの時期を待ち遠しく思うようになってくる。

保育園や幼稚園などの施設は、小さな子どもたちを祭りのパレードに参加させるところが非常に多い。保育、教育活動の一環として、祭りの歴史や伝統に直接触れることができる。保護者たちはビデオカメラなどを手にしながら、かわいい子どもの晴れ舞台を一心に見つめる。

地域の伝統芸能に間近に触れることができるのも、祭りの大きな魅力だ。日ヶ久保の虎舞や本村の鶏舞など、古くから伝わる芸能を楽しみにしている人も多い。伝統芸能は後継者が次第に少なくなってきたといわれている。それでもなお、しっかりと引き継いでくれる若者がいるのは心強い。小学生たちのかわいらしくもたくましい姿、

中学生たちのしっかりとした目つきと振る舞い。何百年も前から、絶えることなく引き継がれた伝統芸能を、将来へつなげてくれる頼もしい子どもたちだ。祭りをを行うためには、何カ月も前から準備を進めていなければならぬ。仕事ではなく、地域の活動として、自主的にかかわっていかねければならない。地域を愛する者たち、祭りを大切に思う者たちの思いは、一致団結したものに結晶化する。

こうして祭りに熱い思いを持ってかかわる人々の姿は、まぶしいほど美しく、崇高なものに感じられてくる。かわる者だけでなく、祭りを見る者にも、その重みは伝わってくる。楽しさや喜びを、みんなで共感することができるのだ。

祭りの余韻を残しながら、おいらせの短い夏は終わりを告げていく。

4百石まつりに毎年姿を見せる日ヶ久保の虎舞。子どもたちは恐ろしさのあまり泣き出すこともしばしば 5三田南組恒例の「OB太鼓」。若かりしころの勇ましい姿を、若者や子どもに披露する 6下田まつり仮装に参加した中村貴子さん=三本木=。昭和の名曲「岸壁の母」をモチーフに、シベリア抑留から帰る息子を待ちわびる姿を演じた。迫真の演技に涙を流す老人もいた 7三田北組はテントで反省会。山車作りは地域の人々を強く結びつける



6



5



3

1若宮八幡宮の行列は神事にちなんだものが多い。てんぐの面をかぶった猿田彦命と中学生たち(百石まつり) 2祭りには保育園児も出演する。伝統的な駒踊りを披露する深沢保育園の園児たち(百石まつり) 3今年の百石まつりには、千葉学園高校バトントワリング部も参加。華麗な演技で観客を魅了した



7

暑い夏もお盆を過ぎてくると、おいらせの朝夕の気温はぐっと下がってくる。そんなころ、町の至るところから子どもたちの元気なおはやしの音色が、心地よく響いてくる。

同時に山車組の作業は忙しい毎日を迎えるようになる。男たちは仕事帰りの疲れた体で、山車作りに力を注ぐ。時には友と酒を酌み交わしながら「今年の山車はこうやって飾ろう」、「子どもたちに楽しんでもらおう」と話に花が咲く。女たちは料理を作ったり、子どもの衣装などを準備したりして祭りを支える。祭りはコミュニティの結束を強める大きなきっかけにつながっている。

山車運行を迎える当日、山車組たちの熱い思いは一気に花開く。祭りを迎えるまでに重ねた苦労や疲れを忘れ、ひたすら祭りを楽しむ。遠い昔から、変わらぬ姿がそこにある。

近年、少子化を迎えて子どもたちが少なくなった—多くの山車組が実感している現実だ。昔の山車組の写真を見ると「これほどまで子どもが多かったのか」と驚く。最近のひとつの地域だけでなく、友達伝いで幅広い地域から子どもたちが山車組に参加するようになっている。今後の祭りのスタイルとして、主流になっていくのではないだろうか。

祭りは神事と切っても切れない、深いかわりを持つ。山や野で農作物、海で海産物を得ながら、昔の人々は命をつないできた。豊作豊漁を祈り、感謝する精神が祭りの原点である。「陸の神様、今年も米が豊作でありますように」、「海の神様、来年もよろしくお祈りします」—そんな気持ちが込められている。歴史と伝統を意識して祭りにかかわることで、祭りをさらに楽しむことができるはずだ。

百石まつりは9月19日から3日間、下田まつりは9月26日から2日間にわたり開かれた。どちらも秋らしく、すがすがしい快晴に恵まれた。山車組の多くはそのことにも感謝しながら、来年の祭りの構想を練り始めている。来年の祭りも晴れることを祈って、祭りへ参加してみよう。おいらせの歴史と伝統、熱い思いを五感で感じ取るために。

特集 秋祭り —豊作豊漁を神に祈る—
おわり

参考文献 下田町誌、百石町誌、北奥日日新聞（北
向印刷所発行）、青い森青い風2005年9・10月号（日
本原燃株式会社発行）、「下田まつり」生き人形の生い
立ちと類似事例（櫻庭俊美）

豊作豊漁を神に祈る。祭りの精神は子や孫へと引き継がれていく。

山車の上で太鼓をたたく小向権羽くん（2つ）の姿に、
祖父の憲郎さん＝（55）七軒町＝はにっこり笑顔

小学校の図書購入のために
図書カード4万円相当を寄贈



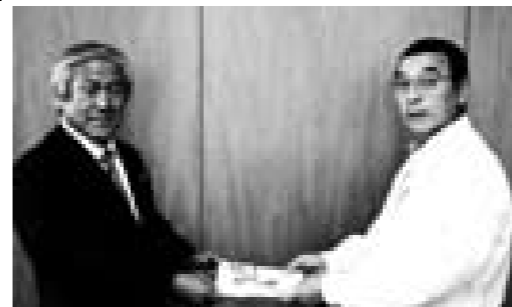
青森県ダンススポーツ連盟（片桐圭司会長）は10月2日、おいらせDSC（ダンススポーツクラブ）の吉村敏文会長を通じ、4万円相当の図書カードを寄贈しました。

これは内閣総理大臣杯都道府県対抗大会（11月1日開催）への出場決定に向け、9月27日に開かれた県代表選手団壮行パーティーの収入の一部をあてたものです。

吉村さんは「子ども時代に本は欠かせないものです。今回は甲洋小学校と木ノ下小学校の図書購入に活用してほしいです」と話していました。

◀村上教育長（右）へ図書カードを手渡す吉村さん（左）

おいらせ音頭制作に役立てて
柏会は町へ10万円を寄付



歌と踊りの活動を行っている柏会（柏崎勲会長）はこのほど本庁舎を訪れ、町へ10万円を寄付しました。

これは本会が毎年開いているチャリティー活動で得た収益金の一部を寄付したものです。

柏崎会長は「おいらせは文化の香り高い町。町民の心をひとつにするおいらせ音頭の制作にあててほしい」とのこと。寄付金を受け取った三村町長は「毎年寄付金をいただき、ありがとうございます」と深く頭を下げて感謝していました。

◀町長へ寄付金を手渡す柏崎会長（右）

名月輝く夜空に山車が集う
秋祭り山車合同夜間運行



秋祭り山車合同夜間運行は10月3日に開かれました。このイベントは今年で2年目を迎えます。

百石まつりに参加した上新町と藤ヶ森、下田まつりに参加した三田南組と間木、合わせて4台の山車が、イオンモール内特設会場を夜間運行しました。

来場者は快晴の夜空に輝く中秋の名月と、きらびやかな山車の姿を楽しんでいました。橘裕章さん＝向山＝は「どの山車も彩り鮮やかで素晴らしいですね」と、山車の美しさに見とれていました。

◀中秋の名月輝く夜空と共に、美しくライトアップされた山車

災害の恐ろしさを実感
甲洋小学校防災スクール



甲洋小学校（荒谷国人校長、児童数166人）は9月10日、防災スクールを開きました。これは子どもたちに災害への備え、心構えを持ってもらうため、さまざまな訓練を行うものです。

校庭には地震の揺れを体験できる起震車や、煙を充満させるテント、水消火器コーナーなどを設置。児童らはそれぞれの訓練を体験し、災害の恐ろしさを肌で感じました。

田端景大君（2年）は「すごい揺れでした。本当の地震だったら大変だね」と話していました。

◀震度6の揺れを体験。左から吉田玲那さん、田端景大君

音のコラボに観客はうっとり
和太鼓フェスティバル



和太鼓フェスティバルは10月4日、いちょう公園体育館で開かれました。

本町からは「王将太鼓」、「鼓蝶蘭舞」の2組が出演しました。力強く優雅な太鼓の響きに、観客は惜しみない拍手を送ります。スペシャルゲストは函館を活動拠点に世界中で活躍する「ひのき屋」の5人。メンバーは和太鼓にギターやパーカッションの音色を織り交ぜながら、素晴らしい音色を披露。当日訪れたおよそ400人の観客は、楽器の音色やボーカルの歌声に、うっとり耳を澄ませています。

◀甘い歌声で観客を魅了したボーカルのしまだめぐみさん（中央）

100歳を祝ってプレゼント
若林憲生さんは肖像画を寄贈



若林憲生さん（埼玉県在住）は9月23日、このほど100歳を迎えた若松ミキさんへ肖像画を寄贈しました。

この肖像画は若松さん本人の写真を見ながら、非常に精密に描かれたものです。若林さんは100歳を迎えた人がいるたびに、肖像画を寄贈しています。この活動は平成9年から続けられ、今回で13回目になります。

肖像画を受け取った娘の若松千賀子さんは「母にそっくり。ありがとうございます」とお礼を述べていました。

なお、後日町は若松さんへ長寿祝い金を贈呈しました。

◀若松ミキさんの肖像画を手渡す若林さん（右）

秋晴れの休日を牧場で楽しむ
ふれあい牧場デー



ふれあい牧場デーは10月11日、カワヨグリーン牧場で開かれました。

これは同牧場を愛するボランティアスタッフたちの手づくりによるイベント。毎年多くの観客が訪れています。

今年も秋のさわやかな好天に恵まれ、多くの人々が訪れました。体験活動やコンサートなどが開かれました。

仲間たちと共にバーベキューを楽しんでいた種市輝夫さん＝若葉＝は「気分は最高ですね。また来年も来たいです」と話していました。

◀大きなシャボン玉に子どもたちは夢中で喜んだ

自立した地域を目指して
住民自治組織提言書を提出



住民自治組織検討委員会の柏崎利信会長、藤ヶ森和子副会長は10月2日、町長へ提言書を提出しました。

本委員会はこれまで18回にわたる協議を重ね、住民自治組織のあり方や枠組みなどについて検討してきました。今回の提言書は、「住民自治組織の役割や活動内容」、「町内をおおむね11のブロックに分けた組織づくり」などを盛り込んだものです。

柏崎委員長は「自立した地域をつくるため、わたしたち住民の役割はさらに重要になる」と語っていました。

◀町長へ提言書の概要を説明する柏崎委員長（中央）、藤ヶ森副委員長（右）

日本一のおいらせ 魚主まつり

*Oirase Salmon Festival
in Oirase*



「第4回日本一のおいらせ魚主まつり」は
11月14日(土)、15日(日)の両日開かれます。
サケのつかみ取りやサーモンレース、花火大会など
さまざまなイベントが行われます。
おいらせの晩秋の風物詩、魚主まつりにぜひ来てください。

☎おいらせ魚主まつり実行委員会(商工観光課内)
☎ 0178-56-4703



14日(土)の主なイベント	15日(日)の主なイベント
10:00 開場・当日券販売	10:00 開場・当日券販売
10:30 開会セレモニー	10:30 サケつかみ取り①
10:50 サケつかみ取り試技	10:45 サーモンレース①
11:00 サケつかみ取り①	11:00 サケつかみ取り②
11:15 サーモンレース①	11:30 サーモンレース②、お楽しみ抽選会
11:30 サケつかみ取り②、サケクイズ大会	12:00 サケ早づかみゲーム
12:00 サケ早づかみゲーム、お楽しみ抽選会	芸能
12:30 サーモンレース②	□ 12:00- / 本村郷土芸能保存会
芸能	□ 12:30- / フラダンスショー
□ 12:30- / 町民舞愛好会	12:00 □ 12:50- / 新舞踊と歌謡ショー
□ 13:00- / 夢のパレエンショー	□ 13:40- / よさこいソーラン
12:30 □ 13:40- / 大間辰歌謡ショー	□ 14:00- / 松永ひと美歌謡ショー
□ 14:00- / 袋小路きままる	13:30 サケつかみ取り③
□ 14:30- / ジェミーピークス	13:45 サーモンレース③
13:30 サケつかみ取り③	14:00 サケつかみ取り④
13:45 サーモンレース③	15:00 お楽しみ抽選会
14:00 サケつかみ取り④	15:30 終了
14:30 サーモンレース④	
15:30 お楽しみ抽選会	
17:00 花火大会	
17:30 終了	

◎つかみ取りには▷スタイルコンテスト▷スモールコンテスト▷景品付きサケがあります。
◎お楽しみ抽選会はサケつかみ取り参加者が対象です。
◎早づかみゲームは大人、子ども各25人が参加できます。

サケつかみ取り券前売り券 好評発売中

前売り券 **1,000円** 当日券 **1,200円**

前売り券販売所◎おいらせ町役場、町商工会、JA十和田おいらせ下田支店、イオンモール下田、ラピア、MISAWA ITT

写真◎サケ早づかみゲーム

総務省では「定住自立圏構想」を進めています。これは少子高齢化や都市部への人口流出などによって、厳しい財政状況にある地方自治体が中心市を核にまとめ、広域的なまちづくりを目指すものです。医療や福祉、公共交通など、市町村単独では確保できない都市機能や事業を、圏域内で補います。

おいらせ町議会は九月定例会で「八戸圏域定住自立圏形成協定」の内容を審議し、可決しました。九月二十四日、本町と八戸市は行政の枠組みを越えて、連携して持続可能な地域づくりに取り組む本協定を締結しました。今後さまざまな分野、NPO団体、地域団体の代表者で構成される「共生ビジョン懇談会」を設けます。懇談会は具体的な協議を行い、取り組みを開始する予定です。

持続可能な地域づくりを目指して —八戸圏域定住自立圏構想を締結—

構想が目指す主な施策

- 救急医療体制の充実** 救命率向上、医療水準の高度化を進めるため、八戸市立市民病院にドクターカーを導入します。
- 周産期医療体制の充実** 八戸市立市民病院でハイリスクの妊婦や新生児の受入体制を整備するため、圏域自治体間で情報共有、連携を図ります。
- 子育て支援の充実** 八戸市の各種子育て支援事業の対象区域を圏域全体に拡大し、安心して子育てができる環境を整備します。
- 農業振興にかかる情報提供体制の構築** 観光農園や農業体験、農業支援および栽培技術情報などを提供しあう体制をつくり、農業の担い手育成などを図ります。
- 社会教育の推進** 圏域内で実施する講座などの開催情報を相互提供しあう体制をつくり、生涯学習の機会充実を図ります。
- 圏域公共交通計画(仮称)の策定** 効率的かつ効果的な公共交通体制のあり方や対応策をまとめた圏域公共交通計画(仮称)を策定、推進します。
- ICTインフラの基盤整備および活用** 光ファイバーなどの情報通信基盤の整備を進める。ICT利活用研究会(仮称)を設け、連携施策を検討、推進します。
- 八戸市東京事務所を活用した地域情報発信** 首都圏で圏域内の情報を発信する。本圏域出身者を含めたUIターン希望者などへのさまざまな相談に対応します。
- グリーンツーリズムの推進** 三八地方農業観光振興協議会の体制を整備します。受け入れ可能な農家の支援、首都圏への情報発信を行います。
- 空き家バンクを活用した移住促進** 空き家バンク制度を構築し、首都圏で本圏域内への移住に必要な情報を提供します。
- 安全・安心情報配信システムの構築** 八戸市で実施している「ほっとスルメール」の配信を、圏域全体に拡大します。
- 圏域内市町村職員育成** 合同研修、学官連携地域シンクタンク事業を活用した人材育成を行います。必要に応じて専門家を招きます。
- NPOなどの活動促進** 八戸市市民活動サポートセンターの機能を活用し、圏域内のNPOなどの情報を市町村間で共有し、情報を発信します。

農閑期、当地方では寒さに耐え忍ぶ暮らしがあった。
石や丸太のわら打ち台に、わらの束を乗せて木槌でたたく。履き物はすべて自ら賄った。わ



ツマゴ
[民具ふれあい館蔵]

ら束の根元を水に浸け、取り出してひっくり返すと、水は稲先へと伝う。それをしばらく横にすると、わら全体に満遍なく行きわたる。水を吸い込んだわらは、わら打ち作業をたやすくする。たたいても繊維を痛めず柔らかくなり、細工がしやすくなった。
草鞋に爪掛けたものをツマゴという。ツマゴの底は草鞋を編む要領で、横編みをして甲編みに移る。編み終えた爪先にツ

マゴ型を合わせ、ひざで上から押さえながら編む。甲の中央を二本飛び編みし、その左右二列を平編みにする。ツマゴの典型的な編み方である。
軽くて温かく、丈夫で履き良く、底部の編み目は滑り止めの役目も果たしていた。雪でぬれたツマゴなどの履き物は、いろりの上の火棚で乾かした。
(文化財保護審議会委員 櫻庭俊美)

事務の点検評価報告書・耐震診断調査結果を公表

町教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に基づき、その権限に属する事務の管理、執行状況について自ら点検、評価を行いました。
前年度を対象とした点検、評価に関する報告書をまとめました。次の通り閲覧します。また、町立小中学校

の耐震診断調査も、同様に閲覧します。
●閲覧場所
①学務課
②中央公民館
③東公民館
④北公民館
●閲覧期間
十二月二十八日(月)まで
●問い合わせ 学務課
☎0178(56)4258

新着図書案内

- ▼一般書
 - 外科医須磨久善 / 海堂尊
 - 楠の実が熟すまで / 諸田玲子
 - フリーター、家を買う。 / 有川浩
 - デパートへ行こう！ / 真保裕一
 - 快適なリフォーム&模様替え / 主婦の友社
 - いのちをいただく / 内田美智子
 - おさがしの本は / 門井慶喜
 - 目録 / 天野節子
 - 悪党 / 薬丸岳

- 楊令伝10 / 北方謙三
- 食シヨック / 読売新聞取材班
- ケーススタディこの商店街に学べ！ / 坂本光司研究室
- 悪いのは私じゃない症候群 / 香山リカ
- ボクに宇宙一の幸せをくれたジャガー / 木下博勝
- パンの耳もつたいない！捨てないアイデア料理 / ブティック社
- 自然界をゆるがす「臨界点」の謎 / 矢沢潔
- 日本を貶めた10人の売国政治家 / 小林よしのり
- 生きる。 / かんとう向き合う

- 7人のストーリー / 井上怜奈
- ▼児童書
 - ペネロペとふたごちゃん / アン・グットマン
 - 大阪うまいものうた / 長谷川義史
 - チリメンモンスターをさがせ！ / きしわだ自然資料館
 - きになるともだち / 内田麟太郎
 - 金メダリストのシューズ / 大野益弘
 - 神社とお寺がわかる事典 / 井上智勝

- ▼北公民館
 - 歴史を「本当に」動かした戦国武将 / 松平定知
 - 朝1分からは始める「朝家事」のすすめ！ / 沖幸子
 - ビニール袋で手早くできる！野菜のうまみが活きる漬け物 / 新関さとみ
 - あるキング / 伊坂幸太郎
 - 幽霊待合室 / 赤川次郎
 - オイアウ工漂流記 / 荻原浩
 - トラウマ / 江原啓之

- 十一月の本展示
 - ◎十一月のよみかせ会◎
 - 日時 十一月十四日(土)、二十八日(土)、十四時から
 - 場所 あそぼっと (図書館内)
 - ◎十一月の図書館休館日◎
 - 日時 二月(月)、九日(月)、十六日(月)、二十四日(火)、三十日(月)

- クリスマスケーキづくり
 - 日時 十二月二十日(日) 十時から十三時まで
 - 場所 いきいき館
 - 講師 高田ゆり子さん
 - 受講料 無料
 - 材料費 千五百円
 - 定員 親子十五組(先着)
 - 対象 町民を優先します

- 申込締め切り
 - 日時 十二月八日(火)まで
- クリスマス寄せ植え教室
 - 日時 十二月九日(水) 十三時半から十五時半まで
 - 場所 パセリー菜
 - 講師 出町勉さん
 - 受講料 無料
 - 材料費 二千五百円
 - 持ち物 エプロン、ゴム手袋
 - 定員 町民二十人(先着)
 - 申込締め切り

- 正月しめ縄教室
 - 日時 十二月二十日(日) 十四時から十七時まで
 - 場所 北公民館
 - 講師 大久保巳良さん
 - 定員 十五人(先着)
 - 対象 町民を優先します
 - 受講料 無料
 - 材料費 三百円
 - 申込締め切り

町青少年育成町民会議(工藤志郎会長)は十月一日、町内小学校付近の横断歩道に横断旗を設置しました。
今回の設置作業は、すべての横断歩道に横断旗を取り付けることはできませんでした。今後、町民会議で協議を重ね、優先順位を付けながら活動を拡大する予定です。
本町には間木パトロール隊や青葉パトロール隊

黄色の横断旗で子どもの安全を守りたい

町民会議会員と間木パトロール隊のメンバーたち。地道な活動が、子どもたちの交通安全につながる

など、いくつかの組織を住民自ら立ち上げています。工藤会長は「ぜひこの横断旗を活用してほしい」と話していました。



町は将来を担う子どもたちに健康への理解を持ってもらうため、健康教室を開いています。子どものころから健康を考えることは、体づくりのためにも、将来のためにもとても大切なことです。

小4年対象
いのちのお話

いのちのお話プロジェクトあかりの助産師を講師に招きました。妊娠、出産から子育てに至るまで、命の尊さをしっかりと学びました。命の尊さに感動する子どもたち、命を授かった時の喜びを思い返す保護者の姿がそこにはありました。

小5年対象
タバコの害

福永恵美子薬剤師(クローバー薬局)を講師に招きました。近年、喫煙年齢は次第に低年齢化しています。実験を通して、子どもたちはタバコの害をしっかりと学びました。

小6年対象
お酒の害

福永恵美子薬剤師から、お酒の害を学びました。アルコールパッチテストでお酒の害を実感する子どもたち。「お父さんに休肝日を勧めたい」と話す子どももいました。

体験を通して健康の大切さを感じ取った子どもたち。家庭でもぜひ話題にしてください。学校、地域、家庭と一体になって取り組むこの教室に、保護者も気軽に参加してください。

☎環境保健課 保健師 ☎ 0178-56-4218

民間委託がスタート

今年の十月から
（株）オリエント
コーポレーションが
国民年金保険料の
納付に関することを
行うことになったネン。

納付や免除申請の案内を
このように行っネン。

電話 手紙 戸別訪問

注意してください

勤務先はどこですか？
口座番号を教えて…

業者が電話で
会社名や口座番号を
聞くことはないネン。

不審に思ったら
八戸社会保険事務所へ
連絡してネン。

業者をかたった犯罪に注意してください

教えておいらくん

10月から国民年金保険料の納付などは民間委託に

委託業者は（株）オリエントコーポレーションだよ。保険料の納付や収納、免除申請の案内などを請け負うよ。



犯罪に注意してください

- 保険料納付書を持っていない人からは、現金は受け取りません。
- 勤務先や口座番号などを訪ねることはありません。
- 指定口座へ保険料の振り込みなどをお願いすることはありません。不審に思ったら、八戸社会保険事務所へ連絡してください。

■ 問い合わせ 八戸社会保険事務所 Tel 0178-44-1742
町民課（本庁舎1階）Tel 0178-56-2246

農業用使用済みプラスチックは適正な処理を

農業用使用済みプラスチック回収を行います

農業用使用済みプラスチックは、農業者が自ら処理することが法律で定められています。

不法投棄や畑でプラスチックを焼却することは、環境への悪影響やブランドイメージの低下につながります。これらの回収は次の通り行います。

● 回収場所
① J A 十和田おいらせもも

いし支店・二川目野菜集出荷センター／十一月五日（木）

② J A 十和田おいらせもも支店・北部野菜センター／十一月六日（金）

● 時間 九時から十六時まで

● 持ち込み方法 ▼使用済みプラスチックは土砂をよく落とし乾燥させる▼ポリとビニールを分別する▼肥料袋は束にして梱包する▼苗箱は二十程度を重ねて梱包する▼農業

容器は洗浄し乾燥させる

● 助成費 一キあたり十円を町で助成します

● 持参するもの 印鑑

● 問い合わせ

① J A 十和田おいらせももいし支店・一川目事業所
☎ 0178 (52) 2384

② J A 十和田おいらせもも支店・指導課
☎ 0178 (50) 0180

③ 町農林水産課
☎ 0178 (56) 4279

11月の納税相談日

日中仕事などで、税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けています。開設時間内であれば、各種税金を納めることもできます。気軽に利用してください。

	月日	会場	時間
夜間	11月4日(水)	税務課(本庁舎)	17:15-20:00
	11月17日(火)		
	11月10日(火)	分庁サービス課(分庁舎)	
	11月24日(火)		
休日	11月1日(日)	税務課(本庁舎)	8:30-17:00

● 問い合わせ 税務課 ☎ 0178-56-4704

◎ 11月30日(月)は次の税金の納付期限です。

固定資産税(第4期)、国保税(第5期)
介護保険料(第5期)、後期高齢者保険料(第5期)

※納め忘れ防止、手間のかからない口座振替が便利です。

野焼き▶▶▶ 環境保健課 ☎ 0178-56-4218

野焼きは原則禁止です 絶対しないでください

一般家庭や事業所でごみの焼却(野焼き)を行うことは、法律で禁止されています。違反した場合、五年以下の懲役または一千万円以下の罰金に処される場合があります。

家庭のごみをドラム缶などで焼却している事例が、多数確認されています。▼洗濯物を干せない▼煙で苦しめて窓

も開けられない▼健康被害が心配などの苦情が町へ寄せられています。

ごみの焼却は近所迷惑になります。土壌や大気汚染、火災や有毒ガスの発生なども引き起こす原因につながります。野焼きは絶対にしてしないでください。

なお、農林漁業に伴う必要最小限のもの、宗教上の行事など、軽微なものは対象外になります。

HEALTH INFORMATION

2年に一度はがん検診

保健福祉 環境保健課 ☎ 56-4218

子宮がん、乳がんの検診が始まりました。対象者は忘れずに受診してください。

● 対象者(平成二十二年三月三十一日現在)
▼子宮がん検診／二十歳以上で偶数年齢の女性

▼乳がん検診／四十歳以上で偶数年齢の女性

● 死因の多くはがん
四十、五十歳代の女性の死因の多くは、がんによるものです。子育てや仕事で忙しい時期だからこそ、きちんと検診を受けることが大切です。

検診を受けると、初期段階のがんを見つけたことができますし、治癒率も高くなります。

粗大ごみ▶▶▶ 環境保健課 ☎ 0178-56-4218

粗大ごみ有料個別収集を利用してください

粗大ごみは、十和田地域広域事務組合(以下「広域」)指定のごみ袋(大)に入りにくい大きさのごみです。

粗大ごみを直接広域へ運搬できない人は、粗大ごみの有料個別収集を利用できます。利用する場合は▼町民課▼環境保健課▼北部出張所へいづれかの窓口で、事前に申し込んでください。

● 申し込みの留意点

① 粗大ごみ処理券(以下「処

理券」)の買い置きや譲り渡し、換金はできません。

② ごみの種類により、分解する必要が有ります。

③ 粗大ごみは、収集日の朝八時までに家の外に出していただく。

④ 処理券を貼っていない粗大ごみは収集できません。処理券がはがれないようにしてください。

⑤ 4トトラックで粗大ごみを収集します。道幅が狭いなどの場合は、申し込みの際に知らせてください。

⑥ 収集日の一週間前までに申し込んでください。

● 収集日
毎月第二、第四金曜日

● 処理券の料金
奥行き、幅、高さのうち、一辺の最長の長さにより、料金は異なります。▼百二十センチ以上のものは千五百円▼百二十センチ未満のものは五百二十五円です。ただし、ふとんなどは、実際に使用する状態の長さで判断します。

● 収集できない粗大ごみ

エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、パソコン、危険物、産業廃棄物など

● 詳細内容
ごみカレンダーを確認してください。町ホームページや窓口から入手することもできます。

● 広域への直接ごみ持ち込み
▼可燃▼不燃▼資源▼粗大をもち込みできます。処理手数料は五十キあたり百五十円です。粗大ごみの場合、有料個別収集よりも割安です。

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶴久保/木下/豊栄/豊原 向山/苦米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙 木内々/梁屋/木崎/秋堂/中野平 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団地 藤ヶ森/いちょう団地/堀切川/川口 明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	11月27日(金)	11月24日(火)	11月23日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 11月4日(水) プラスチック 11月18日(水)	紙 11月11日(水) びん 11月25日(水)	
粗大ごみ	11月13日(金)・27日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します

● 問い合わせ 環境保健課(分庁舎1階) Tel 0178-56-4218

OIRASE BRAND File ⑨

【全国に誇れる】
ブランド

めいちゃんちの生ドレッシング



Meichan's Dressing

新鮮でみずみずしい野菜サラダを食べるとき、ドレッシングは欠かせない調味料のひとつだ。木ノ下地区でこだわりのドレッシングを作っているのは、工房「キッチン・ママ」を経営する長津ゆかりさん。地元産のニンニクやタマネギなどをふんだんに使ったドレッシングは「めいちゃんちの生ドレッシング」と名付けられている。ネーミングに愛する娘の名前

を取り入れた、愛情たっぷり一品だ。材料へのこだわりはもちろん、温度や品質の管理を徹底し、受注生産で対応しているという。野菜サラダだけでなく、パスタやチャーハンなど、さまざまな料理に合う。ぜひ味わってほしい。

町はおいらせブランド推進協議会と一緒にブランドづくりに取り組んでいます。本年度はモニターツアーや新商品開発プロジェクトなどに取り組む予定です。興味のある人は、ぜひ入会してください。

●問い合わせ
 おいらせブランド推進協議会 ☎0178-56-2019
 ポータルサイト <http://www.oirasebrand.com/>
 おいらせブランド 検索

納税

納税貯蓄組合に加入してください

納税は国民の大切な義務です。納税貯蓄組合に加入すると、日ごろから心構えと準備を重ね、無理なく納税できます。

本組合は、納税に備えて貯蓄しようとする人が集まり、自主的に組織した団体です。計画的な貯蓄だけでなく、税を正しく理解するための研修会を開くなど、幅広い活動を展開しています。ぜひ加入してください。

納税貯蓄組合の特典

納税貯蓄組合預金の利子には、税金がかかりません。また、業務に必要な書類などには、すべて印紙税がかかりません。本組合に対し、町から補助金や奨励金が交付されています。

加入方法

現在百五十一組合、六千二百九十五人が加入

●日時 十一月七日(土)、八日(日)の両日 十時から十六時まで
 ●場所 八戸消防本部
 ●問い合わせ 八戸消防本部司令情報課 ☎0178(44)2135

しています。加入希望者は、それぞれの町内に組織されている組合長へ、加入届けを提出してください。本組合は、全町内に組織されています。

新たな組合の組織方法

設立届け、組合の規約および組合員名簿をそれぞれ三部用意し、▽税務署▽上北地域県民局県税部▽町税務課のいずれかに提出してください。

おしらせ

高齢者の除雪作業をお手伝いします

町は一人暮らしの高齢者など、自力で除雪作業を行うことが難しい人に対し、除雪サービスを行います。事前の申し込みが必要で、気軽に相談してください。

●対象者 一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、身体障害者など

●内容 十五センチ以上雪が積

訂正します

広報おいらせ十月号の一部を訂正します

●訂正箇所 九ページ左下レストラン「百果良彩」の電話番号

●訂正内容 0178(20)0562

●訂正箇所 九ページ左下レストラン「百果良彩」の電話番号

●訂正内容 0178(20)0652

子育て支援センターのサークル活動

場所	日時	行事内容
三田保育園 ☎0178 56-2008	11/1㊤ 9:00~14:00	作品展示会
	11/4㊤ 10:00~11:00	手作りおもちゃで遊ぼう(ひまわり館)
	11/5㊤ 10:00~12:00	体験保育(2歳クラス)
	11/10㊤ 10:00~11:00	手作りおもちゃで遊ぼう(みらい館)
	11/11㊤ 10:00~12:00	体験保育(1歳クラス)
	11/12㊤ 10:00~12:00	体験保育(0歳クラス)
	11/17㊤ 10:00~11:30	親子クラブ
	11/19㊤ 10:00~11:30	ハンドメイドクラブ
	11/25㊤ 10:00~11:30	育児講座「ヨガ教室」
	11/26㊤ 10:00~12:00	マタニティママクラブ
錦ヶ丘保育園 ☎0178 56-4051	11/6㊤、13㊤、20㊤、27㊤ 10:00~12:00	たんぼぼクラブ ※詳細はたんぼぼ通信をご覧ください
	11/12㊤ 10:00~11:30	元気ルーム(エコバック製作)
菜の花保育園 ☎0176 53-8670	11/19㊤ 10:00~11:30	ピヨピヨルーム(エコバック製作)
	11/7㊤ 10:00~11:30	体験保育
	11/14㊤ 11:00~12:30	乳幼児学級(幼児の歯の話と歯みがき指導)
	11/14㊤ 14:30~	ワクワクサークル(リース作り)
	毎週土曜 15:00~16:00	キッズバレエ&リフレッシュ体操(有料)
あゆみ保育園 ☎0178 52-2206	11/5㊤ 10:00~12:00	郷土の新米でおにぎり作り
	11/8㊤ 9:30~12:30	あゆみ作品展
	11/10㊤ 10:00~11:30	七五三参り、給食体験
	11/12㊤ 10:00~11:30	はんど&はあとサークル
	11/13㊤ 10:00~11:00	マタニティほんわかルーム(乳房の手入れ)
	11/16㊤ 10:00~11:30	おいらせクロパ
	11/17㊤ 10:00~11:30	お誕生会(対象/8月から11月生まれ)
	11/19㊤ 10:00~11:30	フラダンス
11/24㊤ 10:00~11:30	おゆうぎを踊りましょう	
11/26㊤ 10:00~11:30	フラダンス	

※詳細はきさら通信をご覧ください

もったときに、玄関先から道路までの除雪を行います。時間指定や除雪範囲の延長はできません。●料金 一時間あたり八十円

●申込期限 十一月三十日(月)まで

年末のし尿くみ取り申し込みは早めに

年末はし尿くみ取りの申し込みが集中する時期です。スムーズな処理をするため、十二月十日(木)までに申し込みください。

●申し込み先 「下田地区」 県南清掃(株)本社 ☎0176(23)4351 「百石地区」 第一清掃(株) ☎0178(44)2624

●問い合わせ 十和田地区環境整備事務組合 ☎0176(55)2178

プレミアム商品券は十一月三十日まで

町商工会プレミアム商品券の有効期限は、十一月

三十日(月)までです。期限までに使ってください。●問い合わせ 商工会本所 ☎0178(56)2511 商工会百石支所 ☎0178(52)2029

指名手配被疑者の検挙に協力してください

現在、指名手配者はおよそ千五百人に上ります。オウム真理教被疑者三人も含まれます。

これらの被疑者は、再び犯行を繰り返す恐れがあります。一刻も早く検挙しなければなりません。警察は総力を挙げて、十一月中に追跡捜査を行う予定です。わずかな情報でも構いません。警察に通報してください。

十一月九日は119番の日です

八戸北消防署 ☎0178(52)2525 火災や救急など、119

Original Frame & Urethan Panel

FPの家

快適と暮らそう

Power

地震や台風にも強い。

Eco

地球と人にやさしい。

Cozy

健康で快適に過ごせる。

Economy

経済的な住まいを提案します。

わたしたちは、地域に根ざしてこれからの家づくりを担う、全国の工務店グループです。地域の皆様に新次元の省エネと耐久性を実現させた、「FPの家」をご提案致します。

おかげさまで創業106周年

やすらぎの家造り

株式会社 柏崎組

KASHIWAZAKI HOMEWORKS

〒039-2135 青森県上北郡おいらせ町立蛇71番地

Tel.0178-50-6511 Fax.0178-50-6510

ホームページ 柏崎組 検索 Click

暖房費削減! 「省エネほかほかリフォーム」相談受付中!

募集します

うそ八百ほら吹き大会
 参加者を募集します

まちづくり推進委員会
 ☎0178(56)4701

「新春！うそ八百ほら吹き大会」の参加者を募集します。



前回大会で大賞に輝いた
 角田弘信さん(十和田市)

日時 平成二十二年一月十七日(日) 十三時から
 会場 みなくる館
 募集人数 先着十組(二組二人以上の出場も可能です)
 発表内容 おいらせ町のまちづくり構想にちなんだもの。一人の持ち時間は七分以内です。
 表彰 大賞一人、準大賞二人を表彰します。参加賞もあります。副賞として町特産品を用意しています。

問い合わせ

町まちづくり推進委員会
 (企画課内)
 ☎0178(56)4701

体育・スポーツ賞の該当者を募集します

町は平成二十一年度町体育・スポーツ賞などの表彰式を行うため、該当者を募集します。

本年中に次のような成績を収めた高校生以上の方は、申し込んでください。詳細内容は、町ホームページを確認してください。

- ① 対象 ① 体育功労賞 町のスポーツ振興に尽くし、功績が特に優れている人
- ② 指導者功労賞 ▽長年選手養成、指導に尽くした人 ▽学校体育指導の振興に尽くした人
- ③ スポーツ賞 全国大会などで入賞以上の成績を収めた人
- ④ 優秀選手賞

スポーツ奨励賞

- ⑤ スポーツ奨励賞
- ⑥ 生涯スポーツ大賞
- ⑦ 生涯スポーツ奨励賞
- 申請期限 平成二十二年一月八日(金)まで
- 申請方法 スポーツ振興課 備え付けの申請書に必要事項を記入し、申請してください。申請書はホームページからダウンロードすることもできます。

配管工認定講習などを開催します

町地域整備課
 ☎0178(56)4819

- 受付期間 十一月二十五日(水)から十二月七日(月)まで
- 受付場所 町地域整備課
- 講習会場 八戸会場/八戸プラザホテル(青森弘前、五所川原でも講習を行います)
- 講習の種類
 - ① 配管工認定講習
 - ▽講習日時/平成二十二年一月二十七日(水) 十時半から
 - ② 責任技術者更新講習
 - ▽八戸市民の講習日時/平成二十二年一月二十七日(水) 十時半から

成二十二年一月二十六日(火)、十時半から

- ▽八戸市民以外の人の講習日時/同日、十四時から
- ③ 配管工更新講習
- ▽講習日時/平成二十二年一月二十七日(水) 十四時から
- ※②と③は資格有効期限が平成二十二年三月三十一日までの人が対象です。

メタボ改善に効果的「オート」の栄養講座

町環境保健課
 ☎0178(56)4218

- 日時 十一月二十六日(木) 十八時半から二十時半まで
- 場所 いきいき館
- 対象 おおむね七十歳未満の男性
- 材料費 三百円

祝成人 撮影ご予約承り中

成人式用 衣装レンタル 振袖 ¥38,000~ (着物、帯、袴、草履、バッグ、小物一式含む)

労働大臣検定一級写真技能士の店 有限会社 アトリエゆう

Tel:0178-52-2525 / Fax: 0178-52-2603
 Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索

※有料広告掲載欄です

● 講師 町栄養士、保健師
 ● 申し込み締め切り 十一月十六日(月)まで

「冬の運動不足解消教室」を開催します

町環境保健課
 ☎0178(56)4218

運動指導のプロから、簡単に脂肪を燃焼させる運動法を学びます。

● 日程 十二月十日、十二月二十四日、一月十四日、一月二十八日、二月十八日、二月二十五日(全六回、すべて木曜日)

● 時間 十三時半から十五時まで

● 場所 いきいき館
 ● 対象 おおむね七十歳未満の人

● 持ち物 タオル、飲み物

● 講師 加藤智子さん(健康運動指導士)

● 申し込み締め切り 十一月二十六日(月)まで

元気で長生きを目指す生活習慣病予防講座

町環境保健課
 ☎0178(56)4218

歯周病やメタボリックシンドロームの講話です。

● 日時 十二月九日(水)、十三時半から十五時半まで

● 場所 東公民館
 ● 講師 木村英敏さん(木村歯科医院院長) / 「体の健康は歯と歯ぐきから」

② 高橋清乃さん(八戸赤十字病院医師) / 「知って得する！メタボリックシンドローム」

● 申し込み締め切り 十一月三十日(月)まで

平成二十一年度の自衛官を募集します

町自衛隊・三沢募集案内所
 ☎0176(53)1346

● 募集種目 陸上自衛隊高

等工科学校生徒

● 応募資格 十五歳以上十七歳未満の男子(平成二十二年四月一日現在)

● 受付期間 十一月一日(日)から平成二十二年一月八日(金)まで

● 試験日 平成二十二年一月二十三日(土)

● 試験会場や待遇など、詳細内容は気軽に問い合わせてください。

● 問い合わせ 自衛隊青森地方協力本部 三沢募集案内所
 ☎0176(53)1346

一町長と何でもしゃべりあおう 町民懇談会

月日(曜日)	会場	対象町内
2日(月)	二川目地区生活会館	二川目
10日(火)	東公民館	本町地区、苗振谷地
12日(木)	藤ヶ森地区生活会館	藤ヶ森、日ヶ久保
11月 19日(木)	洋光台地区コミュニティセンター	洋光台、根岸、黒坂、向坂
24日(火)	堀切川地区コミュニティセンター	堀切川、川口、明神下、横道
26日(木)	秋堂地区コミュニティセンター(台風のため変更)	染屋、木崎、秋堂、中野平

開催時間はすべて18時半からです。20時ごろの終了予定です。

● 問い合わせ 企画課 ☎0178-56-4701

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

10件/届出18件

- 木村海人(大晴・雅子) 一川目
- 宮川いろは(進也・いづみ) 鶯久保
- 後藤史果(光英・由美子) 根岸
- 高安美瑠(賢二・広美) 緑ヶ丘
- 野呂詩希(健一・さやか) 緑ヶ丘
- 袴田かいり(雅裕樹・ゆかり) 間木
- 小向大希(龍・絵里子) 大工町
- 盛田梨緒(貴博・友紀) 大木
- 川崎隼太(義光・優香) 三本
- 山下塔亜(真志・沙織) 本

結婚おめでとう

1件/届出4件

- 松林達也 木ノ下
- 李澤希望 鶯久保

お悔やみ申し上げます

16件/届出18件

- 堀川敬 69 上新町
- 岡田ハル 79 二川目
- 北向ハルエ 88 秋堂
- 小向節夫 57 上新町
- 平石五郎 93 深沢坊
- 澤頭康夫 67 阿光米
- 橋本英次 76 木崎
- 北向チヤ 94 上野
- 石岡桂一 71 苦木
- 玉川圭志 90 内ヶ丘
- 木村功子 60 緑ヶ
- 成田愛彦 59 二川目
- 吉田忠彦 62 大工町
- 石倉み系 90 苦米地
- 馬場ハナ 93 苦米地
- 沼館勇吉 78 六丁

9月届け出分。本誌への掲載を希望した人だけ載せています

おいらせ町の人口

(10月1日現在)

	人口	前月比
男	12,205	-10
女	12,877	-10
計	25,082	-21
世帯数	9,194	-9

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 日				
2 月				
3 火				
4 水	町民検診 認知症予防教室	受け付け／6:45-8:30 9:30-12:00	いきいき館 北公民館	5日(水)、6日(木)も同様に開催します
5 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
6 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
7 土				
8 日				
9 月				
10 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受け付け／12:30-12:45	いきいき館 いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談 対象／平成20年4月生まれの子ども
	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	理学療法士の運動指導
11 水	2～3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	受け付け／10:00-10:30 受け付け／13:00-13:30	いきいき館 いきいき館	対象／平成21年8月生まれの子ども 月齢は問いません
	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
12 木	婦人科検診	受け付け／11:30-12:45	北公民館	13日(金)も同様に開催します
13 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
14 土				
15 日	2歳6カ月児健康診査	受け付け／12:30-12:45	いきいき館	対象／平成19年4月から5月生まれの子ども
16 月				
17 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
18 水	健口栄養講座	9:30-13:00	北公民館	
19 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
20 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
21 土				
22 日	愛の献血	10:00-16:30	イオンモール	
23 月				
24 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士の運動指導
25 水	9～10カ月児健康相談	受け付け／10:00-10:30	いきいき館	対象／平成21年1月から2月生まれの子ども
	転倒予防自主トレーニング	9:30-12:00	のびのび館	
	愛の献血	10:00-16:00	分庁舎	
26 木	転倒予防教室	11:00-12:00	老人福祉センター	理学療法士の運動指導
	ポリオ予防接種	受け付け／13:30-14:00	北公民館	対象／生後3カ月から90カ月の子ども
	オトコの栄養講座	18:30-20:30	いきいき館	詳細内容は30ページを確認してください
27 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受け付け／12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談 対象／平成18年5月生まれの子ども
28 土				
29 日				
30 月				

編集後記

▽わたしの住む町内会は、秋祭りとは縁のない地域でした。でも、三歳くらいの子が、祭りのはんでんを着ている写真がアルバムにありました。一体何の祭りに出たときのものなのか、今でも分からずにいます▽祭りにかかわる人々の振る舞いは、歴史とこだわりを感じるものばかりでした。昔から人々の生活は、神を強く意識していたことがよく分かります。その精神を次世代へつなげたいという強い思いを感じます▽三人の子どもたちは、祭りを見るのが大好きです。毎年のように下田まつり、百石まつり、そしてほかの町の祭りに参加してきました。山車作りに参加できたなら、もっと楽しむことができるのだらうなと思っています。

企画課 広報担当
松林 拓大

まずは勇気を持って悩みを打ち明けることから。解決の糸口はきっと見えてきます

行政相談

企画課 ☎ 0178-56-4701



中村廣美
[東公民館担当]
☎ 0178-52-3848



徳永幸雄
[中央公民館担当]
☎ 0178-56-3850

●相談窓口開設日
十一月二十五日(水)
十時から十五時まで

●場所 中央公民館

●相談員

行政相談は、町民の苦情や意見を聞き、行政の制度や運営を改善することを目的に開設されている相談窓口です。道路整備や土地問題などの相談が多く寄せられています。行政相談員は相談窓口開設日だけでなく、電話での相談も随時受け付けています。気軽に利用してください。

町民相談

企画課 ☎ 0178-56-4701



小向恵子
[東公民館担当]



柏崎良子
[中央公民館担当]

●相談窓口開設日
十一月十一日(水)
十時から十五時まで

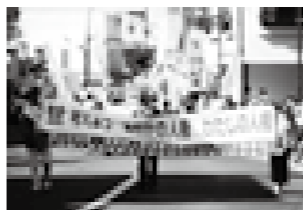
●場所 中央公民館

●相談員

町民相談は、日常生活で発生するような困りごとや悩みを、気軽に相談することができると窓口です。奇数月の第二水曜日は中央公民館、偶数月の第二水曜日は東公民館で相談を受け付けています。気軽に利用してください。相談することで解決の糸口が見つかるかもしれません。

人権相談

町民課 ☎ 0178-56-2246



百石まつりパレードに参加し、人権の大切さを訴える人権擁護委員

●相談窓口開設日
十一月九日(月)
九時から十二時まで

●場所 中央公民館

人権相談は、法務大臣の委嘱を受けた人権擁護委員が相談に応じます。具体的な相談内容は▽離婚や相続などの家庭内トラブル▽高齢者や子どもの虐待、いじめ▽差別▽近隣間の騒音トラブルなどの悩みや相談に応じています。ひとりで悩まず、気軽に相談してください。

こころの健康相談

環境保健課 ☎ 0178-56-4218

●相談窓口開設日
十一月九日(月)
九時から十二時まで

●場所 中央公民館

町の保健師は、近年の自殺者増加防止のため、うつ病の予防と早期発見、早期治療に取り組んでいます。子どもから高齢者まで、たったひとつしかないかけがえのない命を大切にしたい。わたしたちは強く願っています。ひとりで抱え込まないで、心の悩みを打ち明けてください。こころの相談窓口は、いつでも悩みの相談に応じています。

無料で電話相談できます
法テラス青森
を利用してください

法テラス青森は、法律トラブルを抱えた人たちに、解決のきっかけにつながる情報を提供します。

離婚や相続、金銭トラブル、サラ金による多重債務—さまざまな悩みを相談することができます。ひとりで解決することの難しい悩みは、まず相談してください。

☎ 0503383-5552
〒030-0861 青森市長島 1-3-1
法テラス青森

弁護士の法律相談

社会福祉協議会 ☎ 0178-52-7066

●日時 十一月十八日(水) 十三時から十六時まで

●場所 老人福祉センター

●受け付け 十一月四日(水) から電話で受け付けします

●定員 先着八人程度

町社会福祉協議会は町民を対象に、弁護士を招いて無料法律相談を開設します。相談時間は一人当たり二十分程度です。希望者は電話で申し込んでください。



1 抜群のコントロールで相手打線を手玉に取った澤頭俊幸投手。決勝戦は見事に完封し、最優秀選手賞を受賞した
2 勝負強いバッティングで打撃賞に輝いた木村千代明選手 3 上久保辰視捕手は投手の持ち味を存分に引き出した

頑張るおいらせ人にインタビュー

File_05



全員野球で走り、攻め、守った 下田スワンクラブ

優勝に至るまでの5試合、相手に許したのは8点。奪った得点は36点。3試合はコールド勝ち。本当に強い。強すぎる。第16回東奥日報社杯県熟年野球選手権大会壮熟の部は9月4日から20日にわたり開かれた。本町から出場した下田スワンクラブは、決勝戦でポン友クラブ（青森市）を5-0で破り、初出場、初優勝を飾った。全員野球で走り、攻め、守るチームとして臨んだ彼らの思いをレポートした。

九月二十日、秋のさわやかな青空が広がる岩木山総合公園野球場（弘前市）ー澤頭俊幸投手は全力込め、ミット目がけてストロークを投げる。バットが空を切る。三振、ゲームセット。上久保辰視捕手は喜びをあらわにし、マウンド上の澤頭投手と抱き合う。下田スワンクラブ優勝の瞬間だ。

第十六回東奥日報社杯青森県熟年野球選手権大会壮熟の部に初出場した下田スワンクラブは、驚異的な強さで勝ち進んだ。決勝戦は強豪ポン友クラブ（青森市）を5対0で倒した。

決勝戦を含めた五試合のうち、コールド勝ちが三試合。走攻守そろった全員野球で勝利を重ねた。まさに圧巻の試合運びだった。

チームを指揮した北向政美監督（六）木崎は「どこからでも点を取れるチームが出来上がった」と、誇らしげに語る。木村千代明、澤頭俊幸は投手の二本柱として勝利に貢献。完投能力のある投手陣として、チームを引っ張る。

選手らは長い間、強いきずなで結ばれながら野球を続けてきた。チームワークには絶対の自信がある。北向監督は「お互い気心の知れた者同士。来年も優勝を狙います」と、確固たる決意で前を見た。

下田スワンクラブの戦跡

9/4 1回戦	Team	1	2	3	4	5	6	計
	平賀50歳野球クラブ	0	0	0	0	0	0	0
	下田スワンクラブ	0	1	0	0	5	1	7

*6回コールド
(平賀) 中田-鳴海 (下田) 澤頭俊-上久保

9/5 2回戦	Team	1	2	3	4	5	計
	爺爺クラブ	0	0	2	0	1	3
	下田スワンクラブ	1	1	0	6	2	10

*5回コールド
(爺爺) 田中-今 (下田) 木村-上久保

9/19 3回戦	Team	1	2	3	4	5	6	7	計
	むつ旺球会	0	0	1	0	1	0	0	2
	下田スワンクラブ	0	0	2	1	0	1	X	4

(むつ) 外井-森山 (下田) 上久保、澤頭俊-中村、上久保

9/20 準決勝	Team	1	2	3	4	5	計
	野辺地クラブ	3	0	0	0	0	3
	下田スワンクラブ	0	0	3	0	7	10

*5回コールド
(野辺地) 飯田、佐藤、橋本-濱野 (下田) 木村-上久保

9/20 決勝戦	Team	1	2	3	4	5	6	7	計
	下田スワンクラブ	0	0	0	0	2	3	0	5
	ポン友クラブ	0	0	0	0	0	0	0	0

(むつ) 伊勢谷、秋田-力石 (下田) 澤頭俊-上久保

Shimoda Swan Club Members



[前列左から] 澤頭信雄③、田中正光コーチ⑧、北向政美監督⑩、佐藤市三郎コーチ⑨、小泉義明⑫、木村千代明⑪、
[後列左から] 高橋久雄主将⑩、松林政彦③、川崎光雄④、中村光雄①、村崎秀男⑥、袴田光雄⑬、竹ヶ原隆⑯、橋本章⑰、

澤頭俊幸⑪
袴田誠⑫、上久保辰視②、田端亨⑨



半年ぶりに会うかわいい孫娘
「会うたびに成長を感じています」

小向尊さん
こころさん

(上新町・宮城県仙台市)

PROFILE

こむかい・たかし◎ 1948年生まれ。三菱電機システムサービス(株)仙台サービスステーション所長を経て、2005年に八戸サービスステーション所長を務める。現在、4人の孫に恵まれる。おいらせ町上明堂在住、61歳。

こむかい・こころ◎ 2002年青森市生まれ。父の転勤に伴い、宮城県仙台市へ移る。現在、仙台市立新田小学校1年生。7歳。

地引き網体験は十月十一日、二川目海岸で開かれる予定だった。しかし当日は快晴ながらも波が高く、残念ながら海へ網を張ることはできなかった。

小向尊さん(六二) 上新町
と孫のこころさん(七)
宮城県仙台市は「こんなに天気がいいのに」と少し残念そう。
尊さんは四人の孫に恵まれたが、中でもこころさんは初孫。今回の地引き網を「ぜひ体験させたい」と考えた。朝五時過ぎには起床し、孫娘の家族と共に二川目海岸へやってきた。

こころさんは秋休みの真っ最中。この地引き網体験のことを作文に書こうと考えていたそう。この日は、来場者に振る舞われた温かいサケ汁を口に「おいしいね」と満面の笑顔。

尊さんはこころさんと会うのは半年ぶり。会うたびに孫娘の成長を実感しているという。「いつも会うのが楽しみです。元気に育って、みんなを喜ばせてほしいですね」と目を細めた。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 おいらせ

広報おいらせ No.57 2009年11月1日発行号

発行 おいらせ町/編集 企画課/〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2 / ☎0178-56-2111 / <http://www.town.oirase.aomori.jp> / 印刷 (株)岩間印刷

広報おいらせ11月号の印刷経費は、1部66円です